

除害施設等維持管理報告書

記入上の注意

令和〇年 4月 15日

川崎市上下水道事業管理者様

所在地 川崎市 川崎区 宮本町1
 事業場名 ○○工業株式会社 川崎工場
 代表者名 工場長 伊藤 三郎
 担当者名 工場管理課 伊藤 四郎
 電話番号 044-200-2111

除害施設の維持管理状況等を次のとおり報告します。

1 報告の期間	令和〇年 1月 1日 ~ 令和〇年 3月 31日				
2 使用水量 合計 6,690 m³	上水	工水	地下水	他 ()	減量認定 水量
	1月 1,500 m³	500 m³	100 m³	m ³	m ³
	2月 1,700 m³	550 m³	90 m³	m ³	m ³
	3月 1,600 m³	540 m³	110 m³	m ³	m ³
小計		4,800 m³	1,590 m³	300 m³	m ³
3 排水口別排除水量 (排水の種類) 合計 6,690 m³	No 1 メッキ排水	No 2 冷却排水	No 3 し尿、食堂等 雑排水	No	No
	1,800 m³	1,890 m³	3,000 m³	m ³	m ³
4 除害施設処理水量 {除害施設名} 合計 1,800 m³	No メッキ排水 処理施設	No	No		
	1,800 m³	m ³	m ³		
5 操業状況	操業日数	除害施設運転日数			
	72 日	72 日 延べ 648 時間			

(1) 「年月日」

報告を行う年月日を記入してください。

(2) 「所在地、事業場名、代表者名、担当者名、電話番号」

① 事業場の所在地を記入してください。

② 申請者が個人にあっては、屋号を含めて記入してください。

③ 申請者が法人にあっては、名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入してください。

(3) 「報告の期間」

指定した期間の月始めから末日までを記入してください。

(4) 「使用水量」

給水の種類別に使用水量を記入してください。減量認定水量は、「排出汚水量減量認定」を受けている場合に、減量対象水量を記入してください。

(5) 「排水口別排除水量」

事業場の全ての排出口から排除した下水の量を記入してください。

(6) 「除害施設処理水量」

除害施設により処理した量を記入してください。

(7) 「操業日数」

事業場の操業日数で、休業日を除く延べ日数で記入してください。

(8) 「除害施設運転日数」

除害施設を稼働させた延べ日数で記入してください。

記入上の注意

6 水質検査結果 計量証明書を添付してください。	項目 検査日	銅	亜鉛	全鉄	六価鉄	シアン	pH
	1月 6日	0.05 以下	0.25	0.11	0.05 以下	0.11	7.9
	1月 20日			"	0.1 以下	7.5	
	1月 27日	0.05 以下	0.05 以下	0.05 以下	"	"	7.5
	2月 11日	"	"	0.15	"	"	7.8
	2月 25日			"	"	6.9	
	3月 8日	0.45	0.05 以下	0.05 以下	"	"	6.8
	3月 22日			"	0.18		7.1
7 6 の水質検査が水質基準値を超えた原因等	なし						
①内容							
②原因							
③講じた措置							
④措置後の水質							
8 特定施設の使用により生じた廃棄物の種類と量	種類	量	処分業者名	処分方法			
	めっき濃厚廃液	6 m ³	□□処理業	焼却			
9 汚水処理に用いた薬品	種類	量	種類	量			
	次亜塩素酸ソーダ	900 kg	高分子凝集剤	900 L			
	重亜硫酸ソーダ	450 kg					
	苛性ソーダ	180 kg					
	硫酸	450 kg					
10 汚水処理等により生じた廃棄物の種類と量	種類	量	処分業者名	処分方法			
	汚泥	10 t	□□処理業	埋立			
11 その他	除害施設：脱水機（F-100型）の点検整備（2月1~3日）						

(1) 「水質検査結果」

報告期間内に測定した水質を項目別に記入してください。なお、分析を委託した場合は、計量証明書の写しを添付してください。

(2) 「水質が基準値を超えた場合、その原因、講じた処置の内容、措置後の水質等」

水質が基準値以内の場合は「なし」と記入し、基準値の超過があった場合は原因及び措置等について記入してください。

(3) 「廃棄物の種類と量」

廃棄物の種類ごとに、委託処分の場合は、収集運搬業者及び処分業者の名称を記入してください。

(4) 「汚水処理に用いた薬品」

薬品の種類ごとに使用量を記入してください。